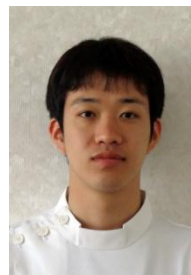


## 国立病院機構和歌山病院での実習を終えて



森下 広睦

4月26日、27日の2日間、第三内科のポリクリの一環として、国立病院機構和歌山病院の呼吸器内科にお世話になりました。

和歌山県では県内唯一の結核病棟があるということで、N95マスクを装着して実際に陰圧室に入り気流の流れを見学するなど、実際の病棟での感覚を体験することが出来ました。胸部画像のセミナーは、どうやって画像を読むのかだけでなく、なぜそのように写るのかを考えることで、所見ひとつひとつに丁寧に向き合うことが出来たと思います。また、呼吸補助機器のセミナーでは、実際に機器に触れ、それぞれの設定のメリット、デメリットを体験することが出来ました。

国立病院機構和歌山病院での2日間で、座学では理解出来なかったことが身を持って実感出来ました。また、今までになかった病態の考え方に触れることが出来ました。今回の実習で学んだことを今後の勉強に取り入れ、一層の精進に励みたいと思います。院長の南方先生、副院長の駿田先生を始め、多くの先生方に御指導頂き、非常に充実した2日となりました。ありがとうございました。